

## 第5・6学年 国語科 授業構想シート

授業者 宮脇 隼

本実践の主張点	文章構成をとらえ、作者が額縁構造に込めた工夫や効果を解釈し、異学年で交流することで、構造から作品を読み深める子が育つだろう。
---------	--

1. 単元名 額縁構造をとらえて読もう 5年：わらぐつの中の神様 6年：やまなし

2. 5・6年F組の子ども

3. 何ができるようになるか

探究力	作者が作品の構造に込めた工夫や効果を解釈することで、他の作品でも構造に着目し、読みを深め、さらに自分たちのシナリオに生かす力（読解力・表現力）
省察性	構造に着目し、それぞれの解釈を共有することで、構造をもとにした読みが他の作品を読み深めるための一つの視点になることを実感し、活用する力（読解力・表現力を支える省察生）

4. 何を学ぶのか

① 単元の目標

作者が額縁構造に込めた工夫や効果を解釈し、異学年で交流することで、構造から作品の主題について考えをまとめ、自分たちのシナリオ作りに活用することができる。

② 教材の価値

映画「ボヘミアンラブソディ」は、額縁構造である。異なる時間軸で展開されるストーリーは、開始数分で「この映画はフレディ・マーキュリーを中心に進むのだ。この後、彼にどんな変化が起こるのか？」ということを考えさせる効果があった。物語の作り手は、内容だけではなく構造を工夫することで、より作り手の想いを伝えようとしている。本実践では、額縁構造をとらえ、構造の工夫や効果についての解釈をもとに、作品の主題に迫る読みをさせたい。また、同じ額縁構造でありながらも、「わらぐつの中の神様」と「やまなし」では、読者としての感じ方も異なる。学年での異なる感じ方を交流することで、意図的に構造を工夫する重要性を感じさせたい。この学習が、学級で行う劇のシナリオ作りにおいて、構造を工夫するための視点を与えるものになると考えている。

③学年間・教科間のつながり

本実践での教材の配列には、三つのねらいがある。一つ目は、どちらも額縁構造で書かれた作品であること（複式における異学年のつながり）。二つ目は、総合的な学習の時間でのオリジナル劇のシナリオ作りと関連させていること（他教科とのつながり）。三つ目は、文学作品の学習として、四月には主人公の心情の変化や、それをもたらす要因について学習したこと（教科内でのつながり）。どれもがシナリオ作りへとつながる学習として位置付けている。

5. どのように学ぶのか

①働かせたい思考スキル

くらべる   
  つなげる   
  まとめる   
  広げる   
  予想する   
  見方を変える

②学習内容を理解し、資質・能力を育成するための学習過程

<p>単元計画（全 12 時間） 本時 9/12                  【国語科 10 時間，総合 2 時間】</p> <p>第 1 次 集会発表の計画を立てよう。【合同】                  （総合的な学習の時間）</p> <p>①集会発表への見通しをもとう。                  ②PDCA サイクルで、昨年度を振り返ろう。</p> <p>第 2 次 額縁構造をとらえて読もう。【複式】                  （国語科）</p> <p>③④初発の感想を書き，交流しよう。                  ⑤登場人物像をとらえよう。                  ⑥⑦場面をとらえて読もう。                  ⑧額縁構造の効果を考えよう。                  ⑨主人公について考えよう。（本時）                  ⑩作品の主題を考えよう。</p> <p>第 3 次 他の額縁構造の作品を読もう。【合同】                  （国語科）</p> <p>⑪⑫ <u>5つの視点</u>で他の作品を読もう。                  （第 2 次における下線部の視点）</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">単元における授業づくりのしかけ</th> </tr> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">探究力を育む</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 額縁構造に目を向ける発問や単元の工夫</li> <li>・ 子どもたち自身が学習の方向性を考え，焦点化していく授業</li> <li>・ 板書を助けるような発問の工夫（ワークシートの活用）</li> <li>・ 作品の特性や，作品を読む視点を異学年で共有する</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">省察性を育む</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適切な場面で学習過程の振り返りや自己評価を行うことができるようにする。</li> <li>・ 本単元での読みの視点を明確にし，汎用性のある読みの力の習得を実感させる。</li> </ul> </td> </tr> </table>	単元における授業づくりのしかけ		探究力を育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 額縁構造に目を向ける発問や単元の工夫</li> <li>・ 子どもたち自身が学習の方向性を考え，焦点化していく授業</li> <li>・ 板書を助けるような発問の工夫（ワークシートの活用）</li> <li>・ 作品の特性や，作品を読む視点を異学年で共有する</li> </ul>	省察性を育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適切な場面で学習過程の振り返りや自己評価を行うことができるようにする。</li> <li>・ 本単元での読みの視点を明確にし，汎用性のある読みの力の習得を実感させる。</li> </ul>
単元における授業づくりのしかけ							
探究力を育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 額縁構造に目を向ける発問や単元の工夫</li> <li>・ 子どもたち自身が学習の方向性を考え，焦点化していく授業</li> <li>・ 板書を助けるような発問の工夫（ワークシートの活用）</li> <li>・ 作品の特性や，作品を読む視点を異学年で共有する</li> </ul>						
省察性を育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適切な場面で学習過程の振り返りや自己評価を行うことができるようにする。</li> <li>・ 本単元での読みの視点を明確にし，汎用性のある読みの力の習得を実感させる。</li> </ul>						

6. 何が身に付いたか

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品の中で使われている特徴的な表現を味わい，文学作品の構造に目を向け，言葉や構造に関心をもっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人物像を想像したり，額縁構造をとらえたりすることで，表現の効果に着目し，作品の主題について考えをまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他者との交流の中で，問題を解決したいという想いをもち，必要な情報を集め，シナリオ作りに活用しようとしている。</li> </ul>

## 国語科学習指導本時案

授業者 宮脇 隼

日時：2019年6月15日（土）第1校時（8：55～9：40）

対象：第5・6学年F組 14人（5年生：8人 6年生：6人） 場所：5・6年F組教室

本時の主張点	それぞれの作品の主人公を考えることで、構造に目を向け、構造の効果から作品の主題につながる読みに変容させる子が育つだろう。
--------	--

### 1. 本時の構想と学習課題について

本時では、どちらの学年も「作品の主人公は誰なのか」を問う。それが、作品の内側で登場人物に寄り添い心情を理解しながら読み進めている子どもたちを、外側から作品の構造へと目を向けさせるものになると考えている。二つの文学作品は、額縁構造として共通する構造で書かれている。しかし、構造が作品の読み取りに与える影響は大きく異なっている。5年生「わらぐつの中の神様」は、現在→過去→現在と時間が流れ、登場人物も変化するため、子どもたちは作品の構造をとらえやすい。また、この構造がもたらしている効果についても自身の考えをもちやすい。しかし、主人公を問うことで、マサエかおみつさんかで意見が分かれることや、わらぐつに対する考えが変化しているからという理由だけでマサエを選択するような読みが考えられる。本時では、マサエがどのような考えを受け入れることで主人公としての変化があったのかを考えさせたい。それが、次時へと繋がる主題の読み取りへ続くと考えている。6年生「やまなし」は、額縁構造であることに気づきにくい作品である。子どもたちの読みは「五月」と「十二月」へと注目される。6年生も同様に、主人公を問うことで、子どもたちの視点を冒頭と末尾の一文へと目を向けさせたい。「私」に着目させること、「私」とは作者である宮沢賢治とも読めるのではないかといった考えが、どうしてこの2枚の幻灯を映し出したのか、どうして「十二月」に登場するやまなしが題名となっているのかという主題の読み取りへと続くと考えている。

### 2. 本時における探究的な学びと省察性の働き

本時における探究的な学びは、根拠をもって学習課題を解決しようとする姿である。ここでの根拠とは、これまでに学習してきた文学作品であり、それらと関連させながら主人公について考えさせることで、汎用性をもった文学作品を読む視点となると考えている。省察性においても同様である。他者の考えを受け、自身の考えを変容させることや深めることで本時における省察性としている。そのためにも、複式における子どもたちの学び方を示すことや、適切な教師の出が重要になると考えている。

### 3. 本時で活用・発揮したいこれまでの学び

一つ目は、複式における学び方である。司会・記録・フォロワーで学習をつなぎ、思考の流れや本時における深まり（方向性）を意識して聴き合う姿を活用・発揮させたい。二つ目は、文学作品における国語科としての学びである。これまでに学習してきた作品と比較・関連させながら、読解する力を働かせ、本時における学習課題に対して、一人一人の読みを交流させ、全体で納得できる解をもたせたい。

#### 4. 本時の目標

5年生：根拠を明確にして自身の読みをもち、マサエがどのような考えを受け入れ、わらぐつへの想いを変容させたのかについて額縁構造の効果とともに考えることができる。

6年生：根拠を明確にして自身の読みをもち、「私」の存在を知ること、作品内において「私」がどういった役割なのかを額縁構造の効果とともに考えることができる。

#### 5. 本時の展開

5年		6年	
留意点・評価	学習活動	留意点・評価	学習活動
	○本時の課題を確認する。		○本時の課題を確認する。
この作品の主人公は誰だろう？		この作品の主人公は誰だろう？	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身が考える課題と関わりのある場面を音読させる。</li> <li>・根拠を明確にし、考えをもたせる。</li> <li>・これまでの学習から、主人公は作品の中で変容していることに気づかせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音読をする。</li> <li>○一人学習</li> <li>○全体交流(1周目) マサエ おみつさん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身が考える課題と関わりのある場面を音読させる。</li> <li>・根拠を明確にし、考えをもたせる。</li> <li>・これまでの学習から、主人公は作品の中で変容していることに気づかせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音読をする。</li> <li>○一人学習</li> <li>○全体交流(1周目) かに(弟, 兄, 父) やまなし 私</li> </ul>
読み深めさせたい方向性の例		読み深めさせたい方向性の例	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マサエの読み 「マサエは、何が変化したのかな？」</li> <li>・おみつさんの読み 「じゃあ、この額縁はいらないのかな？」</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・かに(弟, 兄, 父)の読み 「この額縁は何のためにあるのだろう」</li> <li>・私の読み 「この作品での私の役割はなんだろう」</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●マサエがどのような考えを受け入れ、わらぐつへの想いを変容させたのかについて額縁構造の効果とともに考えている。☒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体交流(2周目) C: マサエは、わらぐつの中に神様がいることを知ったんだよ。 C: 見た目よりも中身の大切さに気づいたのかも。 C: 額縁がないと、この作品の面白さはなくなる。</li> <li>○本時の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●作品内において「私」がどういった役割なのかを額縁構造の効果とともに考えることができる。☒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体交流(2周目) C: この額縁はいらない。 C: この額縁があるから、「私」は作者なのかも。 C: 比べさせて「十二月」を目立たせたいのかな。 C: 「私」の役割が重要なのかも。</li> <li>○本時の振り返り</li> </ul>